

第7回 悼明懇話会 17名参加
平成31年2月19日 19:00~20:00
於：悼明東公会堂

主な話し合いの内容（★＝団体、◎＝市長）

★悼明懇話会の活動紹介について。

京町自治会長岩城さんより団体の概略、現状などについて説明。

- ・現在の会員数は20名。
- ・昭和20年頃から、台風の接近時など由良川の増水が問題になってきた。その中で、地域としてお互いに連携し協力することも必要だという声が大きくなってきた。
- ・悼明懇話会はそれぞれの自治会がお互いに地域の連携を図って明るいまちをつくっていくことを目的として、平成10年に発足した。
- ・また、近年は異常気象の影響もあり、台風の接近に備えた準備や避難勧告が年に数回出されるという状況になってきている。一昨年、悼明懇話会は各世帯に避難する場合に関するアンケートを実施した。それを受けて、防災活動を中心に活動を行っている。

★自治会に住んでいる人はだいたい70代以上であり、非常に高齢化が進んでいる。子どもも春になったら小学生は1人になる。空家もどんどん増えている状況であり、今後新しい人が入ってくるということもなかなか期待できない。他の自治会も同様の状況ではないかと思う。

◎福知山市の家そのものが減ってきているかということ、いろんなところで住宅開発が行われ家は建てられている。結局市の中で少し移動をしているという場合がかなり多いと思う。特に周辺部ではより多かったように思うが、市街地でも同様のことが起きているように感じる。

◎一方、京都府が始めた事業であるが、ソリデールというものがある。これは、高齢者の1人暮らし世帯に学生が下宿させてもらうというものであり、定住するものではないが、空家や高齢者の1人暮らしの解消に向けた1つの方策としては考えていけると思う。

◎空家については、市の方で空家・空店舗ストックバンク制度を設けている。登録はまだ十分ではないので、できるだけ登録していただきたい。一定の支援をさせてもらえる場合もあるので、利用していただければと思う。

★旧市街地の人口がこれから減っていく中で、交通面でのインフラや店舗数などについて非常に憂慮している。現在高齢者の方が手押し車や電動カートで駅前まで買い物に行かれるなど苦労されている。また、介護実習生として地域に入居される方もいる。文化も違うので、何かトラブルが起こるのではと心配していたが、こちらからも接近してよい関係にしていきたいと考えている。

◎国道9号沿いに大型店舗ができたこともあり、個別の商店が減ってきたという事実があり、その中で不便になったり苦労されているという現実があると思う。

◎まちなか循環バスについては、アンケートを取らせてもらい、その結果を受けて、運行経路や安全性に問題がある箇所やバス停の利用状況など検討をしているところである。ルートの変更や商業施設への接続運行なども検討したいと思っているところである。できるだけ利便性が高く利用しやすいように、少しずつ工夫を重ねていきたいと思っている。

◎介護人材で来られる方は要件があり、日本語のN3やN4というのを取らないと認められないことになっているので、一定程度の日本語はできると思う。国や年代が違ったとしても、一緒に楽しくやっという雰囲気があれば、相手の方も地域に馴染んでいただくことができると思う。地域の皆さんと一緒にまちづくりをしていくことにつな

がると思うので、協力をお願いしたい。

★空家は増えてきているが、全く次の人が住める状態になっていないのが現状である。家の中の片付けなど、行政の方で補助金や支給制度を考えてもらえないか。

◎空家であろうと管理の責任は所有者にある。ぜひ空家ストックバンク制度に登録をいただきたいが、家の中にある品物を行政が補助金を出して片付けるとするのは非常に難しいと思う。やはりその品物や動産の中にはご家族にとって大切なものもあると思うので。

★町内に空家が20軒ほどあるが、10年以内に10軒増えることが予測されている。また、空家が増えたことで野良猫やゴミのポイ捨てなど住環境が悪くなってきていることを心配している。そのような中で、迷惑禁止条例のようなものが福知山市にとっても必要になってきているのではないかと思う。

◎ゴミのポイ捨てや不法投棄に関わっては、地域の方にも見守りをさせていただいたり、警察などとも連携して取り組んでいるところであるが、本来的にはモラルの問題である。まずは、ポイ捨てしにくい環境づくりに重きを置きながら、実際に条例を制定している自治体もあるので、研究を行っていきたいと考えている。

◎野良猫については、市としても悩ましい問題だと思っている。保健所とも連携をとりながら対応をしていきたい。

★市では海外実習生や留学生への対応をどのように考えているのか。実際に近所のアパートにベトナムの人が入っておられるが、あまり日本語が話せない方なので、孤立してしまうのではないかと心配している。

◎生活者である外国人の方は今後増えていくと思う。福知山市においては、今まではそんなに多数ではなかったが、愛知県や三重県では実際にたくさんの方がいらっしゃる。今日まで市では、日本語教室を実施してきた。今後は、多文化共生ということも含め、取り組みを進めていきたい。

◎愛知県では、非常に外国人の方が多いので、去年の春に豊橋市に職員を派遣し、取組など調査をさせた。豊橋市で取り組まれていることがそのまま当てはまるかどうかはわからないが、少しずつでも外国人の方に対する対応を考えていきたいと思う。

★役員をしている女性が圧倒的に少ない。町内を見ても有能な女性が多く、時間がある人も多いと思う。自治会長に女性が就くことができる雰囲気づくりができないか。

◎それはすごく大事なことだと思っている。男女共同参画社会の実現は長年叫ばれ続けてきた問題である。就任後、女性活躍応援事業という事業を行ってきた。今年度は起業支援をテーマに実施した。予定していた定員を大幅にオーバーしたり有名な講師の方にお世話になり、非常によい講演であった。今後についても、検討していきたい。

